

## 平成 29 年度 TIA 連携プログラム探索推進事業「かけはし」 調査研究報告書(公開版)

【研究題目】 レクチン利用技術研究の産学連携基盤強化と国際展開を目指した調査研究

【整理番号】 TK17-004

【代表機関】 国立研究開発法人産業技術総合研究所

【調査研究代表者（氏名、連絡先 TEL & Mail）】  
館野浩章、029-861-3125、h-tateno@aist.go.jp

【TIA 内連携機関：連携機関代表者】  
物質・材料研究機構：荻原充宏  
筑波大学：大河内信弘  
高エネルギー加速器研究機構：加藤龍一  
東京大学：山本一夫

【TIA 外連携機関】（ある場合には記載）

【報告書作成者】 館野浩章 2018/3/28  
【報告書作成年月日】

【連携推進（具体的な連携推進活動内容とその活動の効果等）】  
H28年度TIAかけはし事業において「レクチン利用技術研究会」を発足し、計3回のワークショップを開催することで、国内企業との連携強化・拡大を図ることに成功した。H29年度は本研究会を基盤として、計2回のワークショップ、国際ミニシンポジウム、サマースクール、糖鎖プロファイリング講習等を開催するとともに、ConBio2017においてワークショップを企画した。その結果、国内企業との連携を強化するとともに、海外研究者との連携強化を行うことができた。各活動の成果は以下の通りである。

### ・第4回レクチン利用技術研究会ワークショップの開催

日時：2017/9/4 13:00～17:00  
場所：東京大学農学部 弥生講堂 一条ホール  
アカデミア、企業から66名参加

### ・Special symposium: “Lectins toward medicine and industry” の開催

日時：2017/9/25 13:00～17:00  
場所：The University of Tokyo Kashiwanoha Campus Station Satellite, Future Center Initiative  
アカデミア、企業から22名参加

### ・第5回レクチン利用技術研究会・ワークショップ

日時：2018/1/15 13:00～17:00  
場所：産業技術総合研究所 臨海副都心センター別館 11階会議室1  
アカデミア、企業から50名参加

**・ConBio2017 ワークショップ**

日時：2017/12/6

場所：神戸ポートアイランド

【調査研究内容（実験等中心に背景・課題と実行された課題解決の内容と結果）】

**・レクチン利用技術研究会ワークショップの開催**

レクチン利用技術研究会ワークショップ/特別シンポジウムを計3回開催した。アカデミア、企業の方々に参加頂き、最新のレクチン利用技術について各研究機関の講師の先生にご講演頂き、情報共有と今後研究を発展させるための議論を行った。第4回（主催：KEK）は66名、第5回（主催：NIMS）は50名、特別シンポ（主催：産総研）は22名の方に参加頂き、また交流会で親交を深めることで、連携体制をより強固なものとした。

**・口頭発表・講演**

TIA連携5機関の共同研究成果として国内外で講演・口頭発表を行った。

【今後の活動予定】

H30年度は下記の活動を予定している。また、外部資金の獲得を積極的に行う予定である。

**TIA ナノバイオサマースクール**

日時：2018年9月6-7日

場所：お茶の水女子大学

**第91回生化学会大会（レクチンWS）**

日時：2018年9月24-26日

場所：国立京都国際会館

**JAAGT2018（糖鎖WS）**

日時：2018年11月5-8日

場所：つくば国際会議場

**第3回糖鎖プロファイリング初級コース**

日時：2018年10月頃

場所：産総研2-12棟

以上